

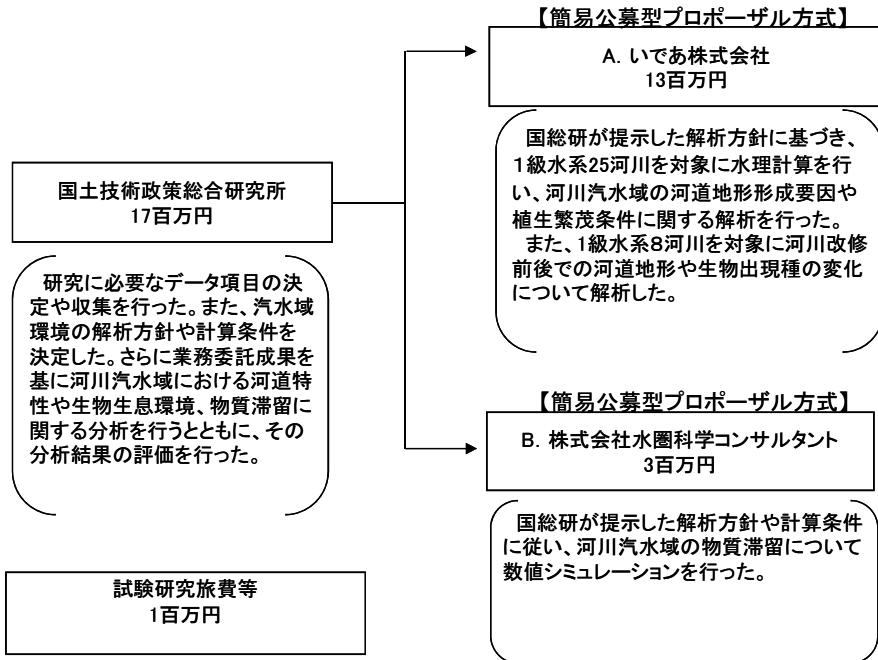
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	汽水域環境の保全・再生に関する研究		担当部局庁	国土技術政策総合研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H21/H23		担当課室	環境研究部河川環境研究室		室長 天野邦彦	
会計区分	一般会計		施策名	44 技術研究開発を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(H18.3閣議決定) 国土交通省技術基本計画(H20.4) 「第3次生物多様性国家戦略」(H19.11閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	治水・利水・環境を総合的に勘案したより適切な汽水域の保全・再生・管理の実現に資する河川整備基本方針及び河川整備計画の策定に必要な技術開発を行い、汽水域の良好な環境の形成及び持続可能な社会の形成に寄与する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	汽水域に関する全国的なデータを収集・整理し、データベース化を行い、それを活用した汽水域の類型化を行った。また、生物の生育基盤となる河道地形の形成要因や植物種と物理、化学環境の相互関係について分析するとともに、これらをふまえ、河道掘削等のインパクトに対するレスポンスを整理した。さらに、数値シミュレーションにより河道地形の改変が物質滞留時間に及ぼす影響について感度分析を行った。今後は、地球温暖化による海面上昇等による汽水域への諸影響を推定するとともに、以上の成果を発展させ、治水・利水・環境を総合的に勘案した汽水域の保全・再生・管理を行うための枠組みや検討方法について提案する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	20	17	16	—
	執行額	—	20	17	—	—	
	執行率(%)	—	—	98.3%	99.8%	—	—
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	定量的な成果目標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施の成果が現れるのは、事業完了後となるため。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	定量的な活動指標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、箇所数、件数、人数等で事業の進捗を表すことができないため。		活動実績 (当初見込み)				—
						() ()	
単位当たりコスト	単位当たりコストを示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施中において定量的な成果実績や活動実績を示すことができないため。		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1	—				
	試験研究費	15	—				
	—	—	—				
	—	—	—				
	—	—	—				
	—	—	—				
	計	16	—				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・外部有識者による評価委員会において「研究の背景を踏まえた研究の必要性」等に関する『事前評価』を受け、国総研が実施すべきという評価を得た上で研究に着手している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先(業務請負者)選定の妥当性については第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。 ・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に行う検査により業務の実施状況及び成果を把握している。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止している。また、主たる部分以外の再委託は、軽微なものを除いては、再委託承諾申請を求めている。本事業においては、再委託承諾申請を要する再委託はない。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・事業開始前に外部有識者による「効率性(研究の実施方法、実施体制)」、「有効性(成果の見込みと活用方針)」等の評価項目に関する『事前評価』を受けている。 ・事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関する『事後評価』を受けることとしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・外部有識者による評価委員会において「必要性(研究の背景を踏まえた研究の必要性)」、「効率性(研究の実施方法・体制の妥当性)」、「有効性(研究成果の見込みと成果の活用方針)」に関する『事前評価』を受けたうえで研究に着手している。</p> <p>・本事業は、外部有識者による「事前評価」において、国総研が実施すべき課題であると評価されている。</p> <p>・また、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関し、外部有識者による『事後評価』を受けることとしている。</p> <p>・業務発注にあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について所内審査を行い、的確な執行に努めている。</p> <p>・複雑な汽水域環境の課題を解決するため、土木工学だけではなく、化学や生物学の専門家など大学・研究機関等と連携を図り、より多くの成果が得られるよう取り組んでいる。また、現地の調査・管理を行っている地方整備局等と連携し、現場のニーズをふまえた事業成果が得られるよう取り組んでいる。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 年度末に当該年度の活動実績や成果の活用状況(見込み含む)について所内評価を行った。また支出先については、価格競争や企画競争により競争性の確保に努めた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止 ⑧	平成23年度中に一定の研究成果を得られる見込みであることから、本事業は廃止する。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23年度中に所要の成果が見込まれることから廃止。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

A. いであ株式会社			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費 (データ整理、水理計算など)	4			
その他	直接経費	0			
その他	諸経費	5			
その他	技術経費	3			
その他	消費税	1			
計		13	計		0
B. 株式会社水圏科学コンサルタント			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費 (データ整理、数値シミュレーションなど)	1			
その他	直接経費	0			
その他	諸経費	1			
その他	技術経費	1			
その他	消費税	0			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ株式会社	河川汽水域の河道形状・河床材料・植生の相互関係に関わるデータ整理業務	7	随意契約 (企画競争)	99.9%
2	いであ株式会社	汽水域におけるインパクトレスポンス評価のためのデータ整理業務	6	随意契約 (企画競争)	99.9%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社水圏科学コンサルタント	河川汽水域における物質滞留特性解析業務	3	随意契約 (企画競争)	99.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					